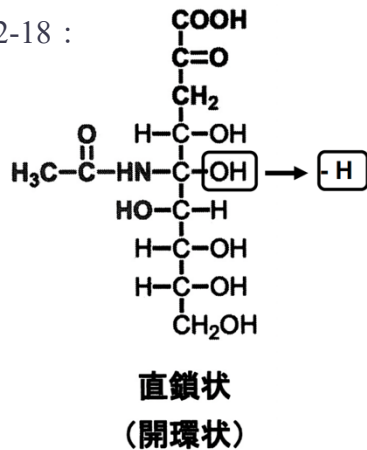


p.15 コラム 2-1 下から 2 行目：細密充填 → 最密充填

p.15 コラム 2-2 下から 2 行目：CC-C- → -C(β)-C(γ)-

p.40 図 2-18：



p.113 表 4-1 2 行目： $\Delta GT$  →  $\Delta G_T^\ddagger$

p.143 10 行目：きもトリプシン → キモトリプシン

p.177 9 行目：第5章 → 第6章

p.224 5 行目：46 → 生化学 46

p.225 下から 5-3 行目 (『』を追加)：

「生命体全体の環境適応を、分子の「原子レベルでの立体構造」にもとづいて、化学反応として理解できるような生命科学の基盤を、皆の協力で作りたいという積極的提案。 →

「生命体全体の環境適応を、分子の『原子レベルでの立体構造』にもとづいて、化学反応として理解できるような生命科学の基盤を、皆の協力で作りたい」という積極的提案。

p. 249 増井良治の 1 行目 1977年 (博士課程修了 理学博士) → 1993年